公明党が「新住民」照準　新線沿線の選挙区、擁立探る

#政治 #東京 #埼玉

2023/3/1 11:00 (2023/3/1 18:16 更新) [有料会員限定]

2005年に開業した「つくばエクスプレス」で秋葉原駅に到着した通勤客（05年）

公明党は衆院小選挙区の「10増10減」で選挙区が増える地域で、小選挙区での候補者擁立を狙う。すでに東京29区で現職の岡本三成氏を公認し、埼玉や愛知でも可能性を探る。鉄道の新線建設などで住民の流入が見込める選挙区に照準を定め、高齢化が進む支持層の若返りにもつなげる。

公明党は自民党側に東京や千葉、埼玉、愛知の1都3県の小選挙区から新たに出馬させたいとの意向を伝えた。

埼玉14区に石井啓一幹事長、愛知16区に伊藤渉政調会長代理を立てる案を調整する。さらに都内の小選挙区で高木陽介政調会長の立候補を推す声もある。

自民党の現職がいない選挙区を念頭に置く。公明党の西田実仁選挙対策委員長は「選挙区の（自民党）候補をどかしてということでなく、自民党との全体の選挙協力の充実につなげていく」と明言する。

意識しているのは最近その地域に住み始めた「新住民」が多い選挙区だ。

埼玉14区は草加、三郷、八潮の3市が選挙区となる。三郷、八潮両市は2005年開業のつくばエクスプレス（TX）の沿線にあたる。都心部に比較的短時間でアクセスでき、子育て世代の人口流入が進む。駅周辺には大型マンションの建設が相次ぐ。

八潮市の推計人口は23年2月時点で9万3258人と、05年の7万6112人から23%増えた。14万1652人の三郷市も同時期に10%増加した。埼玉県全域の人口増加率の4%を大きく上回る。

足立区の一部と荒川区を抱える東京29区も08年開業の日暮里・舎人ライナーの沿線に位置する。

荒川区の23年2月時点の推計人口は08年比12%増の21万7783人だった。住宅価格の高騰に伴い、このエリアの交通の便の良さに着目して移り住む住民が多くなった。

愛知16区は犬山、江南、小牧、北名古屋の4市と西春日井・丹羽の両郡を選挙区とする。北名古屋、江南の両市は名古屋に通勤する住民のベッドタウンとして注目される。

こうした新住民が流入する選挙区は浮動票が多く、選挙で「風」に左右されやすい。そのため自民党も擁立に二の足を踏んでいる面がある。公明党としても支持母体の創価学会からの支援にとどまらない支持層の掘り起こしが不可欠となる。

連立政権を組む自公両党は03年衆院選以降、調整して選挙区をすみ分けてきた。公明党は小選挙区での擁立を8〜10人にとどめ、それ以外の選挙区で自民党候補を支援する。議席を有する選挙区は北海道、東京、大阪、兵庫、広島の計5都道府県にとどまる。

現在、公明党の小選挙区選出の衆院議員は計9人。次期衆院選で増やせば、小選挙区での候補者数は03年以来の2ケタとなる。

新たな小選挙区の獲得が党勢衰退の歯止めにつながるとの期待もある。

公明党の22年参院選で比例代表の得票は618万票と非拘束名簿式になった01年以降最低だった。創価学会で高齢化が進むのを尻目に、自民党は強固な組織票を求めて連合や連合が支持する国民民主党などへの接近をみせる。

公明党内には党代表に衆院小選挙区からの出馬をのぞむ意見がある。党代表を落選させるわけにはいかないとの雰囲気が票固めの一因となり、比例票の積み増しにも結びつくとみる。

太田昭宏前代表は東京12区から当選して代表を務めた。参院議員の山口那津男代表は09年衆院選で小選挙区候補の全員落選を受けて、急きょ代表に選ばれた経緯がある。

石井氏は幹事長として次期代表候補に目される。伊藤氏も次世代の幹部として名前があがる。衆院比例代表で選出された両氏にとって小選挙区からの立候補はこれからの党内人事を占うものとなる。

議席の確保を進める公明党の姿勢に、自民党内では地方組織を中心に反発が広がる。

公明党が先行して公認を発表した東京29区は地元議員が党本部に抗議した。自民党の地方幹部を集めた2月25日の会議では埼玉14区での公明候補擁立に異論が出た。

岸田文雄首相は27日夜、都内の日本料理店で自民党の森山裕選対委員長らと1時間ほど食事をともにした。出席者によると公明党との選挙区調整も話題になったという。

Twitterで最新情報を発信

政治・外交　最新情報はこちら